

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	タートル	公表日 2026年 5月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	定員とスペースのバランスが取れている	今後の利用増に備えた検討が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	職員配置が概ね適正	時間帯ごとの配置最適化
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	環境の構造化やバリアフリー配慮が行き届いている	視覚的支援のさらなる充実
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	清潔で落ち着ける空間づくりができています	活動内容に応じた空間調整
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別に落ち着けるスペースを確保	利用方法のルール整理
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員が改善サイクルに関わっている	改善結果の共有方法を工夫
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者評価を取り入れている	回答率アップの工夫
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員の意見を吸い上げる仕組みがある	匿名意見の導入など幅を広げる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	外部評価を受けている	改善後の効果検証を強化
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修機会が確保されている	研修内容の体系化
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムが適切に作成されている	更新頻度の見直し
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントを丁寧に実施	記録の統一フォーマット化
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	多職種で計画を検討	会議記録の整理
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画が職員間で共有されている	新人への共有方法の工夫
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	日々の観察は行えている	標準化ツールの活用不足
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインを踏まえた計画作成	支援内容の具体性向上
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	チームで活動プログラムを検討	役割分担の明確化
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	プログラムのマンネリ化を防いでいる	季節行事などの幅を広げる

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別・集団のバランスが良い	個別支援の記録強化
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援前の打合せが徹底	打合せの効率化
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援後の振り返りが共有されている	振り返り内容の蓄積方法を改善
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録がしっかり取られている	ICT化による効率化
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングを実施	保護者へのフィードバック強化
	24	児童発達支援ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	基本活動を組み合わせた支援	活動の評価基準を明確に
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己選択を促す工夫がある	選択肢の提示方法を工夫
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議に適切な職員が参加	会議内容の共有方法を改善
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	医療・福祉との連携が取れている	連携記録の標準化
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校との情報共有がスムーズ	行事情報の早期共有
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	就学前機関との連携ができています	引継ぎ資料の統一
	30	学校を卒業し、児童発達支援から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	—	卒業後の移行支援体制が未整備
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	発達支援センターと連携ができています	スーパーバイズの定期化
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	—	地域児童館等との交流が不足
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	協議会に積極的に参加	参加内容の内部共有
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者との日常的な情報交換ができています	情報共有手段の多様化	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	一部家族支援を実施	ペアトレ等の提供不足	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用内容の説明が丁寧	説明資料の改善
	37	児童発達支援提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	意向確認を丁寧に実施	記録方法の統一
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画説明と同意取得が適切	説明の視覚化
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談対応が丁寧	相談内容の記録整理

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	一部交流の機会あり	保護者会・きょうだい支援の不足
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応体制が整っている	周知方法の工夫
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	5	—	通信・SNS等の情報発信が不足
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いが適切	定期的な見直し
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	意思疎通の配慮がされている	コミュニケーション手段の追加
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	—	地域住民を招く機会が不足
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアル整備と訓練が実施されている	訓練後の振り返り強化
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCP策定と訓練が行われている	災害時の連絡体制見直し
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	健康情報の事前確認ができています	情報更新の頻度向上
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー対応が適切	代替食の検討
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に沿った支援	研修内容の更新
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	家族への安全計画周知	周知方法の多様化
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット共有ができています	再発防止策の検証
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を実施	ケーススタディの導入
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束のルールが明確	説明資料の改善・定期見直し	